

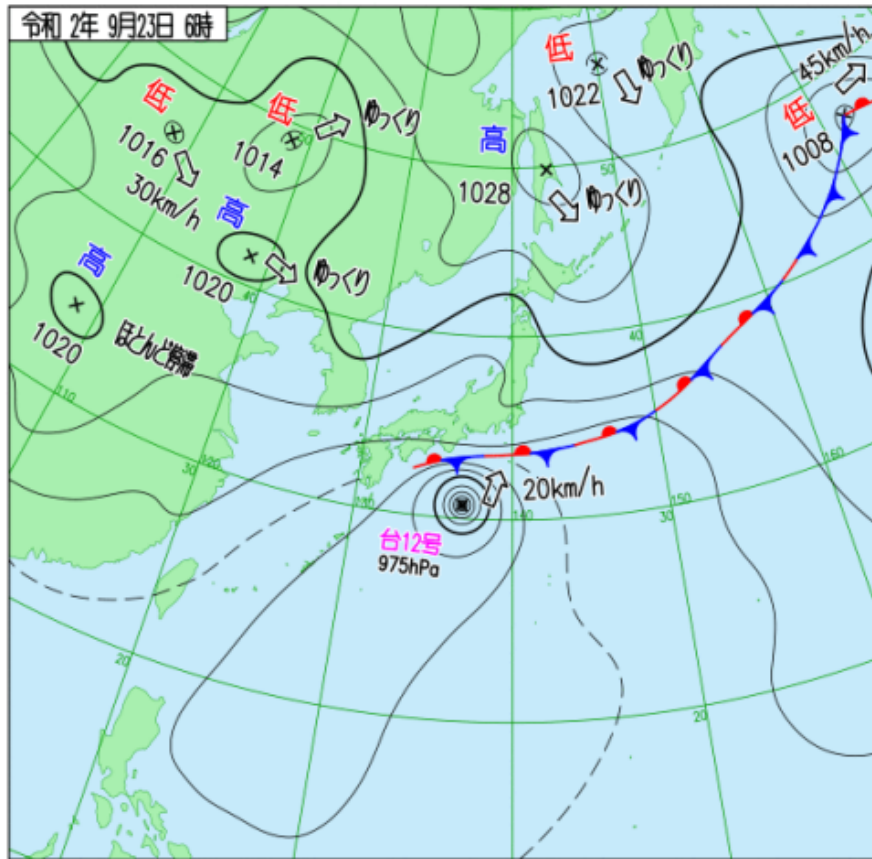
令和2年 台風第12号に関する説明会

9月23日11時開催

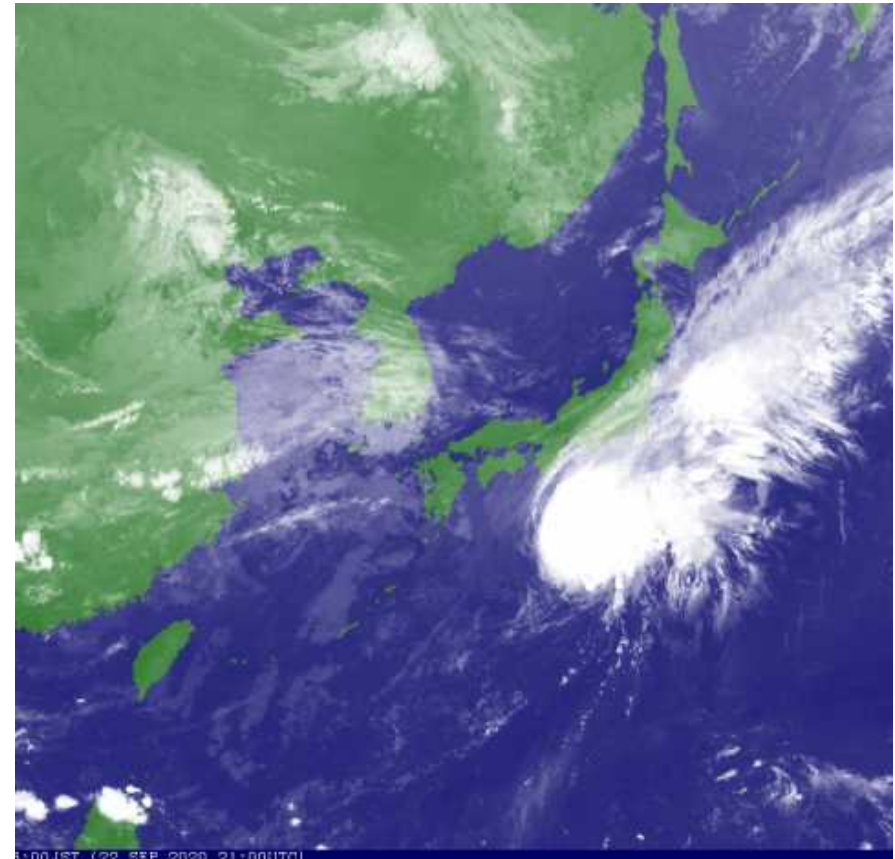
2020年9月23日
静岡地方気象台

9月23日6時現在の状況

9月23日10時現在の資料



地上天気図(9月23日6時)



気象衛星画像(赤外)(9月23日6時)

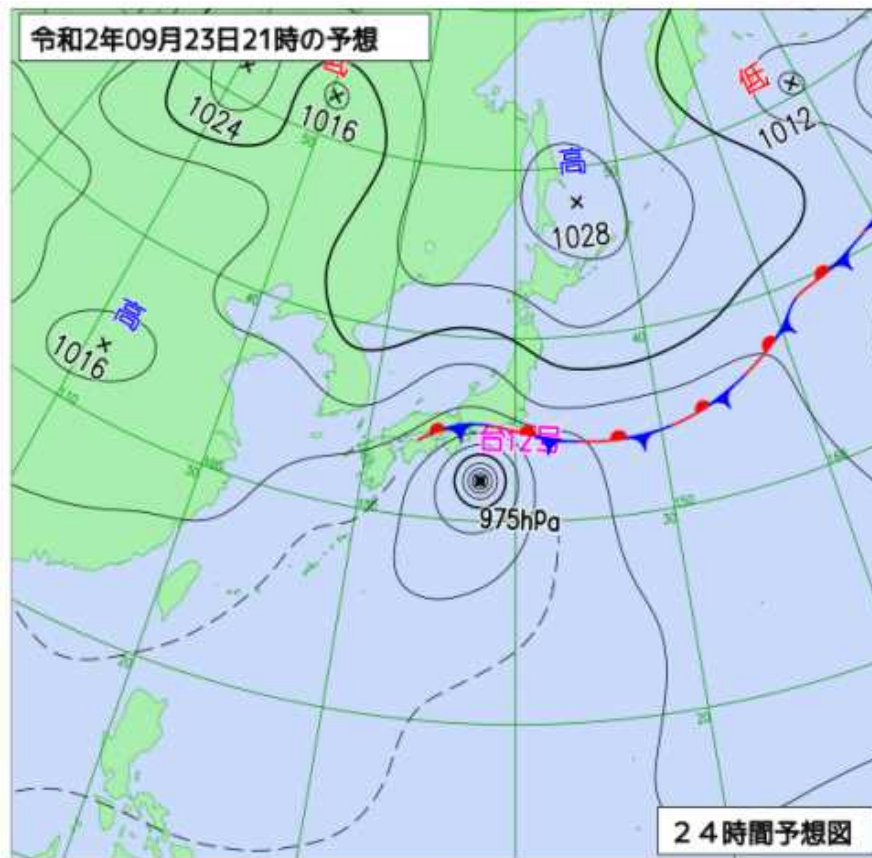
今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。

(天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

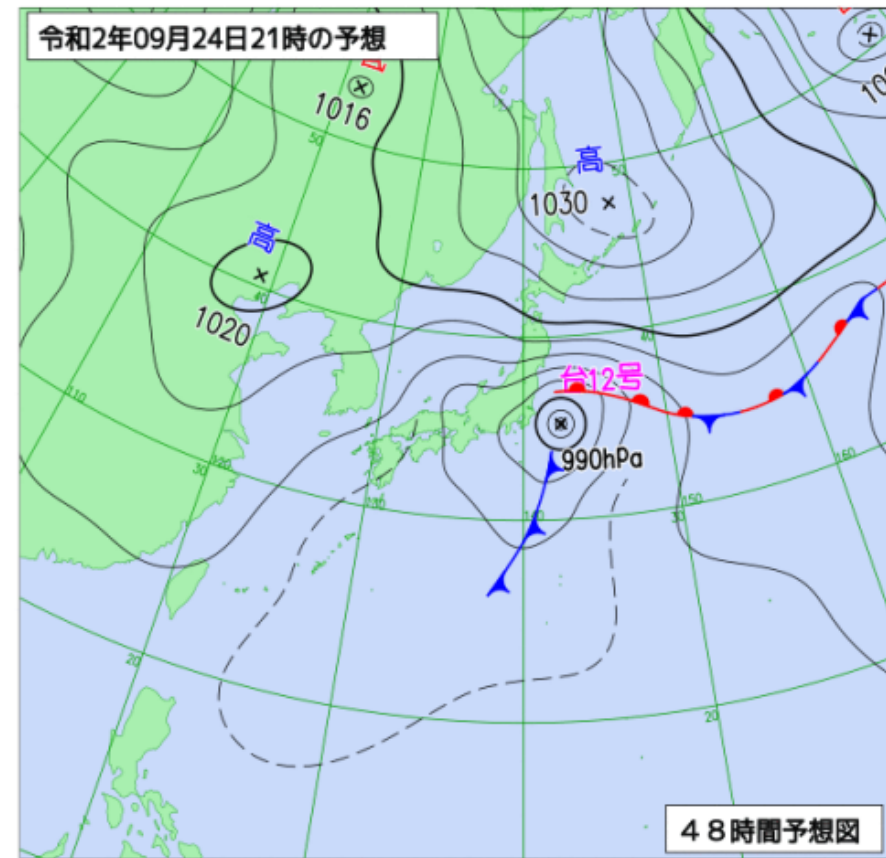
(レーダー: <https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>)

予想天気図

9月23日10時現在の資料



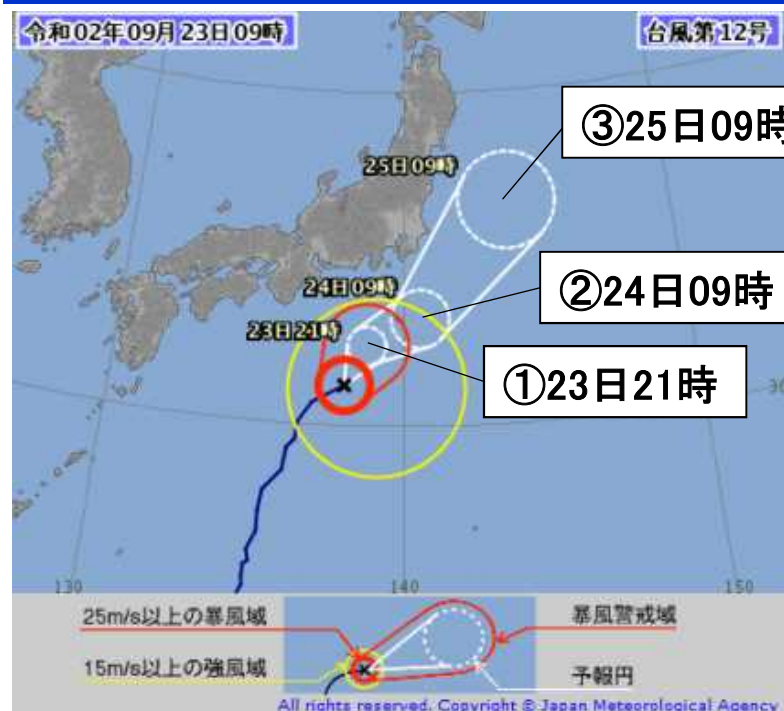
予想天気図(9月23日21時の予想)



予想天気図(9月24日21時の予想)

今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。
(天気図： <https://www.ima.go.jp/jp/g3/index.html>)

最新の台風情報（実況および進路・強度予報）



台風経路図(9月23日09時)

日本の南を中心とした海域の海面水温は、平年よりやや高くなっているため、台風は勢力を維持(発達しながら)して接近するおそれがあります。

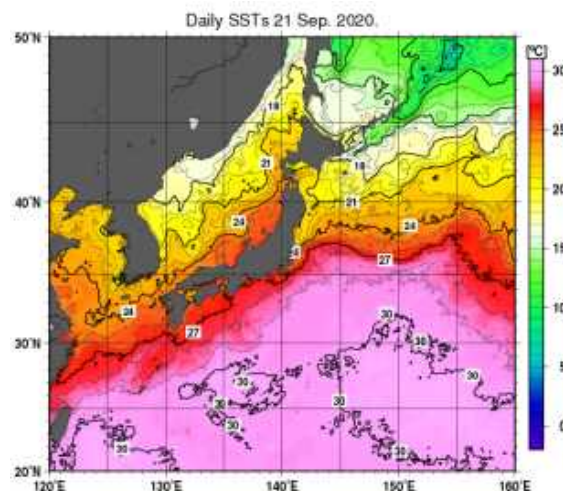
23日09時実況

＜23日09時の実況＞	
大きさ	-
強さ	-
存在地域	八丈島の南西約280km
中心位置	北緯 31度 10分(31.2度) 東経 137度 55分(137.9度)
進行方向、速さ	北北東 20km/h(10kt)
中心気圧	975hPa
中心付近の最大風速	30m/s(60kt)
最大瞬間風速	45m/s(85kt)
25m/s以上の暴風域	全域 85km(45NM)
15m/s以上の強風域	東側 390km(210NM) 西側 185km(100NM)

9月23日10時現在の資料

＜23日21時の予報＞	
強さ	-
存在地域	八丈島の南西約140km
予報円の中心	北緯 32度 20分(32.8度) 東経 138度 40分(138.7度)
進行方向、速さ	北北東 15km/h(7kt)
中心気圧	980hPa
中心付近の最大風速	30m/s(55kt)
最大瞬間風速	40m/s(80kt)
予報円の半径	65km(35NM)
暴風警戒域	全域 140km(75NM)

＜24日09時の予報＞	
強さ	-
存在地域	八丈島の東約70km
予報円の中心	北緯 33度 10分(33.2度) 東経 140度 30分(140.5度)
進行方向、速さ	東北東 15km/h(9kt)
中心気圧	985hPa
中心付近の最大風速	25m/s(50kt)
最大瞬間風速	35m/s(70kt)
予報円の半径	95km(50NM)



海面水温(9月21日)

＜25日09時の予報＞	
強さ	温帯低気圧
存在地域	いわき市の東約260km
予報円の中心	北緯 36度 40分(36.7度) 東経 143度 50分(143.8度)
進行方向、速さ	北東 20km/h(11kt)
中心気圧	992hPa
最大風速	23m/s(45kt)
最大瞬間風速	35m/s(65kt)
予報円の半径	165km(90NM)

今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。
(台風情報: <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

- ・台風第12号進路は、当初の予定から**東側のコース**となる見込みです。
- ・23日夜からは、**台風第12号の東側の暖かく湿った空気が**、24日朝にかけて断続的に伊豆半島に流れ込むでしょう。
- ・伊豆を中心に、大気の状態が不安定となるため、**23日夜遅くから24日朝にかけて激しい雨が降り、総降水量が多くなる見込み**です。
- ・発達した積乱雲が同じところに流れ込み続け、**激しい雨が長時間降り続いた場合は、災害の危険度が高まるおそれ**があります。

警報級・注意報級の現象が予想される期間

9月23日10時現在の資料

今日(23日)

明日(24日)

			23日					24日								
			9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
			昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
台風最接近								最接近	最接近							
1時間最大 降水量 (ミリ)	静岡県	中部	5	10	10	15	15	15	15	15	15	15	15	0	0	
		西部	5	5	5	5	5	5	5	5	0	0	0	0	0	
		東部	5	10	10	15	15	15	15	15	15	15	1	0	0	
		伊豆	25	25	25	20	30	30	30	30	20	20	20	1	0	
強風 (メートル)	静岡県	陸上	13	13	13	15	15	17	18	18	18	17	15	9	9	
		海上	18	18	20	20	20	20	20	20	20	19	17	15	15	
	静岡県	中部	18	18	20	20	20	20	20	18	17	16	15	13	13	
		西部	18	18	20	20	20	20	20	18	17	16	15	13	13	
		東部	10	10	10	12	12	13	14	14	14	14	13	13	13	
		伊豆	18	18	20	20	20	20	20	20	20	19	17	15	15	
	大雨(土砂)	静岡県	中部						注	注	注	注	注	注	注	注
			西部						注	注	注	注	注	注	注	注
東部						注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	
伊豆						注	注	警	警	警	警	警	注	注	注	
波浪 (メートル)	静岡県	中部	3	4	4	4	4	5	5	5	4	3	3	2.5	2.5	
		西部	3	4	4	4	4	5	5	5	4	3	3	2.5	2.5	
		東部	1	1	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2	2	2	1.5	1.5	
		伊豆	3	4	4	4	4	5	5	5	5	4	3	3	3	
		相模湾	2	2	2.5	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3	2.5	2.5	
		駿河湾	1.5	1.5	2	2	2	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	
雷	静岡県						注	注	注	注						
早期注意情報								面(中)	面(中)	面(中)	面(中)	面(中)	面(中)	面(中)	面(中)	
警報級			注意警報													

警報級 注意報級

↓: 北の風 ↗: 北東の風 ←: 東の風 ↘: 南東の風 ↑: 南の風 ↖: 南西の風 →: 西の風 ↙: 北西の風

◎警報級の現象が予想される期間:



◎注意報級の現象が予想される期間:



※注意報、警報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

23日12時から24日12時
までの24時間降水量:

中部 70ミリ
西部 30ミリ
東部 80ミリ
伊豆 100ミリ

24日12時から25日12時
までの24時間降水量:

中部 およそ50ミリ
西部 およそ50ミリ
東部 およそ50ミリ
伊豆 およそ50ミリ

警報級・注意報級の期間は、実況によって変わります。気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

【防災事項】

＜大雨＞伊豆では、23日夜遅くから24日朝にかけて激しい雨が断続的に降り、総降水量が多くなる見込みです。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。落雷、突風に注意してください。

＜高波＞23日昼過ぎから24日夕方にかけて海上はうねりを伴いしける見込みです。高波に注意・警戒してください。

＜強風＞中部・西部・伊豆の海上では、23日夕方から24日昼前にかけて非常に強い風が吹く見込みです。強風に注意してください。

【早期注意情報】

伊豆では、本日(23日)18時から明日24時の雨の警報級の可能性が[中]、また、中部・西部・伊豆では、本日(23日)18時から明日24時の波の警報級の可能性が[中]となっています。

【補足事項】

最新の台風情報に留意するとともに、今後の警報・注意報、気象情報に留意してください。土砂災害、浸水害、洪水の危険度に関しては、10分毎に更新されるこれらの危険度分布を確認してください。

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移(■警報発 □注意報発)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報の種類		〇〇日								〇〇日		
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風速 (矢印・メートル)	陸上	3	10	15	20	25	30	15	10	10	以後も注意報発
	海上	10	10	10	20	20	20	10	10	10		

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

《風が強まる前の家の対策》



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		4日							5日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0										
	(浸水害)											浸水注意
	(土砂災害)											
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	12	14	20	25	35	18	15	12	10	
	海上	15	18	25	40	40	20	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5		
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				
雷												竜巻

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日16時頃

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った
高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日16時頃

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による 災害の事例



高波による道路の浸水被害
(北海道神楽内村) 写真提供:北海道
(平成16年台風第18号)



兵庫県芦屋市涼風町
海岸堤防を越えて流入する海水
写真:芦屋市提供



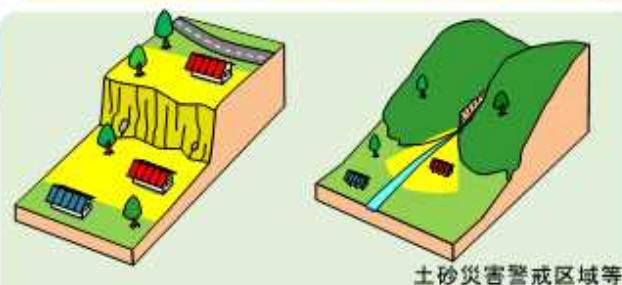
兵庫県芦屋市涼風町
住宅地の浸水
写真:芦屋市提供

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

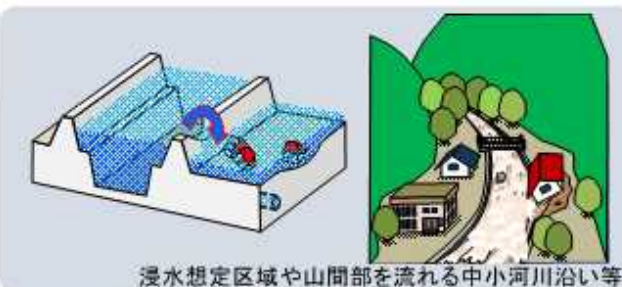
土砂災害



浸水害



洪水災害



危険度分布

2時間先までの予測



1時間先までの予測



3時間先までの予測

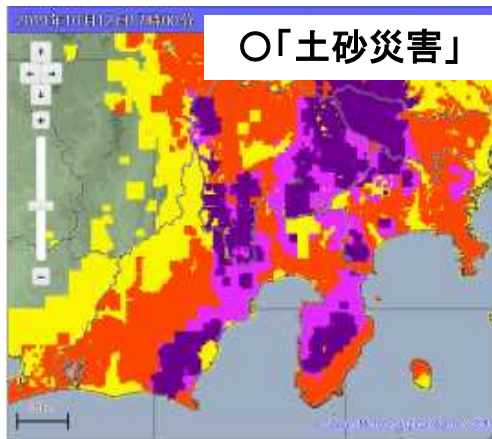


災害の例



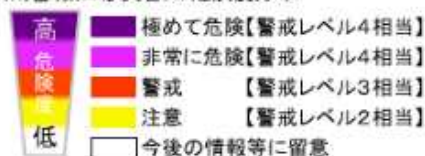
大雨・洪水警報の危険度分布 (危険度が高まっている場所を見る)

○「土砂災害」

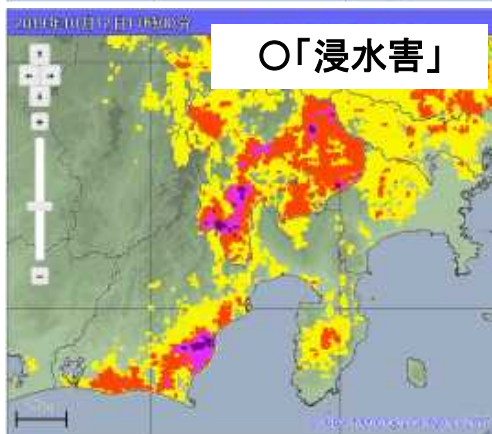


土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

大雨警報(土砂災害)の危険度分布



○「浸水害」



大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

大雨警報(浸水害)の危険度分布



○「洪水害」



洪水警報等が発表されたときに、発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水警報の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

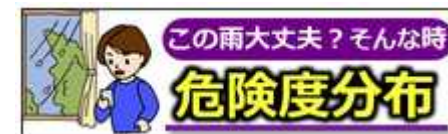
今後の予想を含めた最新の情報（気象庁HP）

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/jp/warn/327_table.html

- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂災害
浸水害
洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>



- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに嚴重な警戒を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/jp/dosha/327_index.html

- 最新の気象データ（雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

問い合わせ

静岡地方気象台 防災 054-286-3521

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例

気象状況	気象庁等の情報				市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)				- 心構えを一段高める - 職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報	高潮注意報	危険度分布	注意 (注意報級)	第1次防災体制 (連絡要員を配置)	ハザードマップ等で避難行動を確認	2
	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報			氾濫 注意情報	第2次防災体制 (避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断できる体制)		
大雨の数時間～2時間程度前	※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報		警戒 (警報級)	避難準備・高齢者等避難開始 第3次防災体制 (避難勧告の発令を判断できる体制)	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、 避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難	3
				非常に危険	避難勧告 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難	4
	土砂災害警戒情報	※2 高潮警報 高潮特別警報		極めて危険	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令	避難を完了 ・道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	
数十年に一度の大雨	大雨特別警報			氾濫 危険情報	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認	危険な区域からまだ避難できていない方は、 命を守るための最善の行動をとる ・大雨特別警報発表時には、災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応する	5
				氾濫 発生情報			

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考)「危険度分布」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。